令和２年９月７日発行　　http://setagaya5.boy.jp/scout/

SETAGAYA さくら5 9月号

発行／ボーイスカウト世田谷第５団広報部

リニューアル記念第１号

ビーバー隊｜池袋防災館／こどもの国
カブ隊｜夏季舎営準備／夏季舎営
ボーイ隊｜1day キャンプ（2）／（3）

会議報告
会議予定
編集後記
編集・校正・校閲方針について

特別寄稿
団委員長
横山和久｜さくら
ボーイ隊副長
神田雅代｜スカウトは反省を喰って大きくなる
前さくら編集
畑崎祐子｜６年間さくらを編集して

さくら

団委員長 横山和久

世の人々に「さくらと聞いて思い浮かべるものは何？」と聞けば、その多くは花そのものや、お花見や入学式、森山直太朗、馬肉（？）などではないかと思う。だが当団関係者、特に長年携わっている人ならほぼ間違いなく、世田谷第５団の広報誌が真っ先に頭に浮かぶのではないだろうか。

近年の広報誌「さくら」はカラー化・デジタル化され、そして毎月キチンと発行されている。見る方は毎月楽しみに待っているだけだが、作成して下さっている広報委員の方々のご苦労を考えると本当に頭が下がる思いでいっぱいだ。

私がスカウトだった頃は、隊集会の終わりにわら半紙にガリ版印刷された「さくら」がリーダーから手渡されていた。当然モノクロである。今のような写真などは無く、あっても手書きのイラスト程度だった。

当時の「さくら」は、高校生年代のシニア（現ベンチャー）スカウトが作成しており、私が携わった頃はさすがに鉄筆・ガリ版ではなくなっていたものの、それでもまだ青色のボールペン原紙だった･･･。

＜謄写版印刷の話はある程度年配の方以外には全く意味不明の話題と思われるので割愛＞

作成には手間もかかるしネタ探しも大変で、毎月発行とはいかなかったことだけはよく覚えている。また当時はパソコンやスマホ・携帯電話も無い時代だったので、情報を入手するために他隊のリーダー宅へ電話をしたり伺ったりして原稿を集め、今は無くなってしまった旧団本部へ持ち寄り編集会議兼隊集会をやっていた記憶が残っている。当然全面手書きで、誌面割りをちゃんと決めてから書き始めなければならない。今のようにカット＆ペーストで簡単に順番を入れ替えることは出来ないので、途中で変更が必要になったら最初から書き直しということになる。

大変な作業ではあったが何回かやっているうちに「段取り」の重要性が分かり、今まで関わっていなかった他隊のリーダーとも「面識」ができ「コミュニケーション」が取れてくる。

当時は思いもしなかったが、大人になって考えると「色々と経験（体得）させてもらってたんだなぁ」と思える。

ボーイスカウト活動にはある意味面倒なこと（作業）が多い。今ある文明の利器を使えばパッと出来てしまうことも、わざわざ不便な方法で先ずはやってみる。これには理由があるのだが、それについてはまたの機会にお伝えすることにして、何れにせよスカウトは年代に応じ色々な事を担当（体験）しながら「体得」していく。「さくら」発行もその１つなのだと思う。

今回「さくら」の編集にスカウトが参画することになった。担当するスカウト諸君には今は難しいと思うが、大人になって振り返ったとき何かを感じれるような活動となることを期待している。

最後に、長年「さくら」の編集をしていただいていた畑崎さんが、先月号を最後に勇退されました。長年に渡る団へのご奉仕に対し誌面をお借りして心より感謝申し上げます。

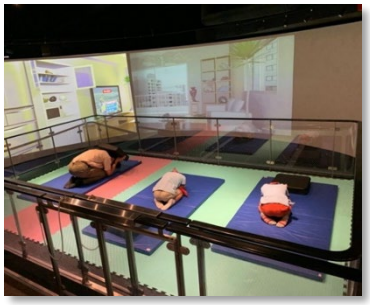
2020 年 8 月 9 日（日）

池袋防災館

ビーバー隊隊長

草島隆行

　毎年恒例の池袋防災館です。子供用体験コースで、煙避難、地震体験、消火、映画鑑賞のセットです。まずは煙避難です。体を低くして、暗い中非常口のサインを手がかりにドアを 4 つ開けて避難です。みんなちゃんと避難できました。次は地震体験です。頭を守る姿勢を取り、怪我を防ぎます。子供は震度 6 弱、大人は東日本大震災を再現した震度 7 を体験します。家庭や学校でも大人がしっかりしなくてはいけない場面ですが、震度 7 はさすがの自分のことで精一杯という感じになってしまいます。。次の消火は小学三年生以上なのでリーダーがやるのを見学となりました。最後にビデオを見て終わりました。



　防災館は、池袋の他に立川、本所にもあります。本所では暴風雨体験ができるなど、場所によって中身が若干異なりますが、事前に体験しておくことの重要性を改めて感じた 1 日となりました。

2020 年 8 月 30 日（日）

こどもの国

ビーバー隊隊長

草島隆行

　夏休み最後の日曜日、こどもの国に行きました。見学者三名を含む 9 人と賑やかとなりました。とても暑い日だったので、現地に着いたらマスクとネッチを外し、まめな水分補給を心がけました。まずは子ども動物園に行きました。暑いせいか動物達もちょっとへばっていたようですが、ヤギやロバ、くじゃく等色んな動物を見ることが出来ました。昼食を取り、いよいよメインイベントのザリガニ釣りです。割り箸とタコ糸、餌はイカを使います。石垣の隙間に潜んでいるとのことで、糸を垂らして待ちます。ザリガニよりも手長エビの方が数が多く、引きがあるのはエビが中心でした。エビもザリガニもほどほどに難しく、ちょうどいい感じの企画となりました。スカウトが少し飽き気味になった後も付き添いの保護者の方々が一生懸命続けていたくらいでした。結局みんなで釣ったザリガニと手長エビを還して帰途につきました。

　とても暑い中の企画でしたが、無事に終えることが出来ました。また、ローバーの堀江君と小針君が企画、引率と実行してくれました。初めて完全に任せましたが、しっかりやってくれました。

2020 年 8 月 2 日（日）

夏季舎営準備

カブ隊副長

青木由美

　8 月 2 日の活動は夏季舎営の準備でした。
　準備は舎営に持っていく荷物が全て揃っているか、記名がされているか、を皆で確認すること、しおりを見ながら舎営の内容を確認するなどが主な活動内容です。
　大型ザックから全ての持ち物を出し、一つ一つチェックをしていきます。そのあとは自分の力でザックに詰めなおします。今年は会場と人数の都合で机の上に荷物をだし、スカウトは立ってチェックと詰めなおしをしました。それもあって、ほとんどのスカウトはテキパキと作業を行い、早く終わることが出来ました。おかげでスタンツの練習をした後も時間が残り、皆が大好きなもやいのガンマンゲームまですることが出来ました！集中して手早く行えば、楽しいことに時間が使えるということ、みんなわかったかな。本番もその調子で！

1 組くま

[redacted]

　今日は 3 時間やりました。しかスカウトがふざけていたけれど、注意ができず、組長としてダメだなと思いました。
　今日は張り切ってやったので足が痛いです。

2 組くま

[redacted]

　今回は 3 回目の夏季舎営準備でした。
　荷物確認の時に、荷物が他の人のと混ざらないか心配でした。何故なら、テーブルがくっついていたからです。でも混ざらなかったので良かったです。
　今年はコロナの影響で、夏季舎営の日数が少ないけれど、楽しくなるといいと思います。

3 組しか

[redacted]

　荷物検査をして、いよいよ夏季舎営が楽しみです。
　ロープのゲームもしたので、もっとロープを結ぶことも学びたいです。

4 組しか

[redacted]

　今日の夏季舎営の準備では、組をまとめる大事な組長代理をしました。
　新しいメンバーも入ったので最初は緊張したけど、デンリダーに聞きながらだんだん自信がついてきました。
　スタンツの準備も、みんなで意見を出してくれたのでスムーズに決まっていきました。夏季舎営でもみんなで協力して楽しみたいです。

2020 年 8 月 21-23 日（金-日）

夏季舎営

カブ隊副長

青木由美

今年の舎営は 2 泊 3 日といつもより 1 日短い形で行いました。保科 BVS 隊副長、保科 RS が奉仕で参加して下さり、充実したプログラムを用意することが出来ました。舎営場所の長者の森は、広い敷地内には北相木川が流れているとても美しい自然の中にある施設です。

1 日目はその広い施設を散策、工作に使う自然のものを拾います。途中、ローラー滑り台も体験。次のプログラム、工作では、自然のものをうまく組み合わせて組看板を作成しました。

各組、発想豊かな仕上がりとなりました。

夜の肝試しは少し早めにスタート。毎年大人気のプログラムです。

2 日目は恒例のカンガルートーストを作り、ゆっくり食べた後、水遊び、イワナ掴み取り、魚さばき体験と BBQ に CP ラリー、営火と実に盛りだくさんの内容。イワナの掴み取りではイワナもスカウトも必死の攻防！イワナも命がけで逃げる。スカウトだって自分のお昼ごはんを確保しなくっちゃ！続いての捌き体験は思った以上に皆冷静にさばいており、お見事！そしてお魚があまり好きではないと話すスカウトもペロリとたいらげていました。

そんな中次第にお天気が崩れ、雨スタートの CP ラリーとなりましたが、ここは得点を競うゲームが各 CP に用意されているわけですから、どの組も良く考え、ゲームにチャレンジ！スカウトそれぞれの性格、組の得点状況、更には思いやりや譲り合い、諸々が複雑に混ざり合い、雨も上がって各 CP にちょっとしたドラマがありました。さて夜プロ、営火は大盛り上がり！保科 BVS 副長と保科 RS の炎も申し分なく、ドラマチックな営火となりました。

3 日目は 2 キロほどハイクをして自然スケッチ。今年

は絵だけでなく、観察ポイントを文で書き入れました。これがまた素晴らしい！じっくり観察したのであろう内容がわかりやすい文と絵に表れていました。

今年は昨今の状況により、1 日短い舎営となりましたが、色々なものがぎっしり詰まった舎営だったように思います。カブ隊の約束や定め、モットーが存分に発揮出来た 3 日間だったのではないでしょうか。もちろんうまくいったことばかりではありません。思ったように行かずがっかりしたこともあったでしょう。でもなんだって経験出来たことは宝ものです。スカウトのちっちゃな体に詰まった沢山の経験と思い出が彼らをしっかり成長させていくことでしょう。舎営後の活動においてスカウトがどんなふうに変わっていくのか、また一緒に活動するのがとてもとても楽しみです。

1 組 DL

杉山明日香

初めての舎営参加はとても楽しく、スカウトたちの様子もしっかり見ることができました。

たった 3 日間ですが様々なことにチャレンジした内容で、スカウトたちも大いに成長できたのではないかと思っております。ありがとうございました。

2 組 DL

福部志保

DL として初めての夏期舎営、歩く事が少なく体力に自信の無い私は出発時には緊張しておりましたが暑い中でも雷雨の中でも子供達が頑張って活動する姿に励まされました。

私が受け持ちした二班は途中疲れた子がいれば背中を押してあげたり声を掛けてあげたりとお互いにフォローし合っていて、練習ではかなり苦戦していたスタンツも本番では一番の出来となりました。

その甲斐あってみんなが当初から目標にしていた最優秀組賞を獲得することができて感動しました。

野外やコテージの中にいた虫を怖がっていた子供達、当たり前に思っていた普段の生活の有り難みを実感する機会にもなったようです。

初参加の息子を含めて誰一人として怪我が無く体調が悪くなる事がなく元気に帰路に就けた事は隊長や副長、DL の皆様の目配りとお心配りのお陰と感謝しております。

私自身は DL として母として反省点が沢山ありましたが今後の活動に活かしたいと思います。親子共にカブスカウトでしか出来ない沢山の良い経験をさせて頂き本当にありがとうございました。

3 組 DL

都筑竜彦

今年は COVID-19 が蔓延する中、特異な環境下において夏季舎営が行われた。スカウト活動に限らず、日々の活動も制限されたスカウト達にとって、体力面から 2 泊 3 日で充分楽しめたものだったと思う。例年より 1 日少なかったけれど、リーダーによって考え抜かれたプログラムにより、とても内容の濃い舎営であった。天気が当日までの雨予報を覆し、好天に恵まれたことは幸いした。子供達の言動、表情から皆楽しめて満足していることは疑いようのないことだろう。舎営での経験がスカウト達の今後の活動にプラスに働くことを期待したい。

最後に、COVID-19 対策・舎営準備・運営を入念に滞りなく行って頂いた隊長はじめ、副長の皆様にこの場をかりて感謝の意を表したい。

4 組 DL

渋谷真紀子

今年は 2 泊 3 日でしたが、その分内容が凝縮されていて、とても充実した 3 日間でした。

去年しかだった子がくまになり、うさぎだった子がしかになって、さまざまな活動を通しての一人ひとりの成長がみれたこと、また新しく入隊した子も含め、異年齢で協力し、助け合う姿を沢山みることができ、DL として一緒に参加することができて、本当に良かったです。

ありがとうございました！

1 組くま [redacted]

3 日間にたくさん良いことや悪いことがありました。

一番良かった事は事故に合わなかったことです。

悪かったことはハチにさされてしまったことです。

みんなでがんばって 2 位になったのがうれしかったです。

1 組しか [redacted]

今年は「夏季舎営でキラリと光ったで賞」をもらえて嬉しいです。

でも来年は、個人賞だけではなくて最優秀組賞を取りたいです！

1 組しか
[redacted]

ボーイスカウト合宿 1 日目
僕はこのひ、ボーイスカウトの合宿に行きました。
朝早い 6 時 30 分集合で、バスに乗り弁当を食べた。
この一日で楽しかったことを紹介します。
まず美味しかったことから言うとご飯は全部美味しかったです。
楽しかったことは、スタンツ練習や、工作は時間はあまりなかったけど、ランタンじゃなくて木の板に、自然のものをボンドではることや、ランタンで肝試し、そして楽しいじゃないけど、お風呂も気持ち良かったです。。

ボーイスカウト合宿 2 日目
ボーイスカウト合宿 2 日目だ。
今日朝 6 時半に起き、着替え寝袋を片付けた。
そしてこの 2 日目の楽しかったことや、美味しかったことを紹介する。
1 番美味しかったのは、カンガルートースト、簡単に言えば自分で作るホットドックだ。
それ以外のご飯も全部美味しい楽しかったことは長者の森ラリーだ、あとは魚掴み取りや、キャンプファイヤーだ。
そこで練習してきた。スタンツをした。
それが一番楽しかったけど、上手くできなかったことは、魚捌き体験だ、本当にグロくて内臓は取れなかった。

ボーイスカウト合宿 3 日目
ボーイスカウト合宿に行った 3 日目の話です。
いつも通り 6 時半に起きます。
この日に楽しかったことを紹介します。
「ご飯は全部美味しかったです」
この日に帰るので少ないです。
楽しかったのは、自然観察です。
自然観察と得意な絵もかけて、なんとダムが目の前で観れるからです。でっかくてそこで飛び込んで泳いでみたいです。
あとはお土産を買うことです。
選んだお土産が父母が喜んでくれたからです。
ボーイスカウトの合宿楽しかったこと。

終

1 組うさぎ
[redacted]

いっぱい歩いてつかれたけど楽しかったです。川あそびはダムを作ったのが楽しかったです。かんばんやスケッチやカンガルートーストを作るのが楽しかった。

2 組くま
[redacted]

3 回目の夏季舎営は、ほとんど全てが楽しかったです。そして何よりも、最優秀組賞と最優秀スカウト賞を受賞したことが、とても嬉しかったです。僕は、今回の舎営では、特に部屋の整頓を頑張りました。今までで、一番楽しい夏季舎営でした。

2 組しか
[redacted]

僕は、次長として、後ろから「一列！」などと声をかけられて、良かったです。
そして、プログラムも全部できて良かったです！
特に僕は、魚掴みが楽しかったです。魚が、ぬるぬるしていて、掴みにくかったです。
そして、何よりも最優秀組賞が、取れたことが、とても嬉しかったです。それは、組のみんなの協力があったんだと思います！
その中でも、一番頑張ったと思う人は、組長の森くんだと思います。理由は、集合の時に組を仕切ったり、部屋を綺麗にしたりと、頑張っていたからです！

2 組しか
[redacted]

ぼくの夏期舎営の思い出 No.3 は
1 番はきもだめしです。がいこつのお面をかぶったやつがこわかったです。
2 番はローラーすべり台です。はじめはこわかったけど、乗ってみたらすごくおそかったです。
3 番は魚のつかみ取りです。
ぬるりとして、岩と同じ色でつかまえにくかったけど、4 匹とりました。
ホイル焼きにしたらおいしかったです。
来年の夏季舎営も楽しみです。

2 組しか
[redacted]

僕は、特に営火が楽しかったです。歌や踊りなど楽しかったです。みんなのスタンツも面白かったです。色々なことがあって楽しかったです。今年はコロナの影響で、1 日短くなってしまったので、来年また行きたいです。

3 組くま
[redacted]

舎営で一番楽しかったのは CP ラリーです。なぜなら、ななめハウスで片足立ちをして 1 分 9 秒たえられて 2 位になれたからです。また、きもだめしもこわかったけれど楽しかったです。総合結果は 4 位でくやしかったけれど、3 組のスカウトと仲良くなれたのでこれからもみんなで協力してがんばりたいと思います。

3 組くま
[redacted]

スタンツをみんなで練習して、火の周りで踊ったり、笑ったり出来た事が面白かったです。
みんなが並んでいるときに、ちゃんと列を崩さないように並んでくれたので、良かったです。

3 組しか
[redacted]

ぼくが舎営で一番楽しかったのは、ちょうじゃの森ラリーと川あそびと魚つかみとローラーすべりだいです。くやしかったのは、ローラーすべりだいが一回しかできなかったことと、舎営のそうごうとく点が 4 位だったことです。でもとても楽しかったです。らい年の舎営では 1 位をとりたいです。

3 組しか
[redacted]

カンガルートーストがとても美味しかった。肝試しで怖いと思っていたけど、あまり怖くなかった。家族と離れるのは初めてだったけど、大丈夫だとわかった。来年も頑張りたい。ありがとうございました。

3 組うさぎ
[redacted]

楽しかったことはカンガルートーストで、とてもうまく作ることができました。スタンツは大きな声を出せたのでよかったです。また色々な友達とより仲良くなることができて嬉しかったです。

4 組くま

[redacted]

　ぼくは、夏季舎営で魚つかみ・魚裁き体験をしました。僕は去年も、その前の年も魚つかみをしました。川の囲いの中から逃げた魚を捕るのは初めてでした。

　石に魚がかくれていました。みんなでその石をどかしました。僕は静かに川に入って魚に見つからないようにそっと手を入れました。すると尾びれをつかむことができました。魚が体を曲げてきたので頭をとり魚をうまくとらえることができました。一人では難しい魚とりもみんなとならできました。

　せっかく自分たちでとったのですが、魚が取れない組にまわされてしまい正直がっかりしました。それでもおいしいと言ってくれれば僕はほっとします。

　次に魚さばき体験をしました。今年初めて魚さばき体験をしました。これは自まんしたいぐらいうまくできたと思います。

　魚のこう門から包丁を入れて二枚におろしました。頭を落とすところは骨が硬くてむずかしかったです。内臓をとるときは気持ち悪いと思いました。

　おろした魚は野菜の上にのせてホイル焼きにしました。ぼくは今まで魚はきらいでした。しかし、みんなで料理をしたら楽しくおいしかったです。

　この魚とり・魚さばきの活動で、一人でできないこともみんなとならできると体験としてわかりました。仲間と協力することの大切さに気付きました。

4 組しか

[redacted]

　行く時は長者の森がどんなところかわからないので、心配だったけれど、行ってみたら楽しかったです。

　きもだめしと営火が特に楽しかったです。

　きもだめしは、去年よりもリアルですごく怖かったです。

お化け役の本間副長、秋山副長、青木副長、その他は誰かわからないけれど、髪の毛が白くて顔が隠れたお化けや、体がもじゃもじゃのお化けが、走っておれたちを追いかけてきました。

　営火は歌ったりスタンツをして、夏季舎営で一番楽しかったです。

　来年はきもだめしがどれだけリアルかが楽しみです。

4 組しか

[redacted]

　魚のつかみ取りでは、自分で取ることが難しく副長の手を借りてやっと岩魚を捕まえることができてとてもうれしかったです。今回は、夏季舎営 2 回目なので、前回の夏季舎営を思い出しながらできた。お互いに声をかけあい、やり通すことができてよかったです。

4 組うさぎ

[redacted]

　僕は、魚つかみが一番楽しかったです。

　その後、自分でさばいて焼いて食べた魚の味が美味しくて、忘れられません、みんなで肝試しをした時がとても怖くて、大声を出してしまいました。

　夜は雨の音がすごくうるさくて眠れませんでした。また、来年も参加したいです。

スカウトは反省を喰って大きくなる

ボーイ隊副長 神田雅代

変なタイトルでびっくりさせます。
「さくら」の楽しみは活動の写真と感想文です。長年に渡り多くのスカウトが、折々の思いを文章にして寄せてきました。ここ4、5年は、大学生になったローバースカウトがそれぞれのスカウト物語を寄稿してくれて、読み応えがあります。
私はかれこれ15年リーダーをしていますので、幼かった彼らがしっかりした文章で自分の気持ちを表明してくれることに、頼もしさと感慨深さをおぼえます。と同時に、そのような「さくら」という場所があることを、素晴らしくありがたいことだと感じます。数多くの努力で成り立ってきたこの場所を、今後も大切にしていきたいものです。歴代の関わりのあった方々に深く感謝いたします。
新しく世田谷第5団に関わられた方々にも、「さくら」のことをよく知って頂ければと思いまして、ボーイ隊の感想文についてお話しさせていただきます。

世田谷第5団では、長きにわたって5団の伝統として続いている広報誌「さくら」に掲載するため、スカウトに活動の感想文を書いてもらっています。
その目的は、他の隊との比較や原稿の数の帳尻合わせではありません。活動を振り返ることによって経験から何を学んだかを明確にし、また自身の現在位置を認識することで、「学習」を定着しやすくすることが狙いです（ここでの「学習」はロープ結びなどの具体的な技術に限りません。大げさに言えば、いわば「人間力」とでも言うべきものを含みます)。
ボーイスカウトは野外活動を主なフィールドにして、奉仕・冒険・挑戦・協力・忍耐・思いやり・感謝といった抽象的な「人間力」を育てるのが目的です。そのためには、振り返りによる「活動の意味づけ」がスカウトにとってとても大切です。
家に帰って保護者に話したり、学校の友達の休日と比較して密かに優越感を感じたり、そして「さくら」に感想文を書いたり…。折にふれ活動を「追体験」することが成長の助けになります。
スカウト活動は月に2回と認識されていますが、実は反芻・繰り返しを行うことが重要なのです（ボーイ隊ではこれに事前活動を加えて、企画・計画・実行・反省というメインの活動プラスその前後にまたがるプログラム運営全体をスカウトに経験させます)。

全員に全回、書いてもらいたいところですが、それだと掲載が大変ですし、読む方にも適度な分量というものがあるので、班の中で分担、交代制でやっています。
すると「分担はどのようにするのか」ということになりますが、そこはスカウトの自治に任せています。
いちおう記録係の役割に分担決めの仕切りがありますが、実際には押し付けあいの末ジャンケンするといった決め方が散見されます。
しかし制度導入から3年目にもなると、自ら引き受けたりバランスを考えて配分したりという自治らしきことが出てきます。
時間はかかりましたが、班長次長の指導力・実践力の向上、そしてカブスカウトからの良き習慣などもあって、以前よりはスムーズに決まるようになりました。
次のステップは、全員が約束を守ってきちんと原稿を出すことです。締め切りを設定して原稿を課すことは、そういった責任感の向上も意図しています。
そして「さくら」が発行された後、「あいつはどんなことを書いているか？」、「他のスカウトはどう思ったのか？」といったことを共有します。これが「3度目の経験」となります。

つまり、読んで追体験することが重要です。人との違いを認識することで、アイデンティティの発見・確立にもつながることが期待されます。ですので、ぜひスカウトに「さくら」を読める環境を作ってあげてください。

今は、全体監修をローバー隊長の渡口さんがやってくれています。彼の手にかかれば私の拙い文章も命をもらいます。

保護者の方々は、スカウト達が責任を果たし、振り返りを通して血肉化し、3度目の体験ができるように、「さくら」を上手く使って協力してあげてください。そして何より、「さくら」を材料にしてスカウトと話し合ってみてください。我が子を理解するための手紙として、毎月楽しみにしていただければと思います。

リニューアルにあたり、諸先輩方に感謝を込めて。

2020 年 8 月 2 日（日）

1day キャンプ（2）

オットセイ班

[redacted]

　僕は今年初めて出席をしました。いろいろあったけどもこれからも続けていきたいです。

　今回初めて新しく入って来た人と会いました。こうやって自分を見返すと自分が入って来てから体力が少しついたなと思いました。

　もう一番下ではなく、一年上がったという気持ちを心に思いながら、真面目に活動をしていきたいです。

オットセイ班

[redacted]

　今回はテントの設営をしました。

　家族でキャンプに行くことが多かったけれど、新しく学ぶことがありました。例えば、崖下や雨の時に水が通る場所にはテントを立てない。テントわきには溝をつくるなどを学びましたが、とても暑くて片付けが大変でした。ボーイでキャンプに行く時に活かしたいなと思いました。

カモメ班

[redacted]

　今回カモメ班は、炊事でした。メニューはサバ缶のみそ汁、親子丼、切り干し大根、なすとスパムのいためものでした。みそ汁はうすかったけどおいしかった。缶詰めが料理になることにおどろきました。

　ぼくは火の番をしましたが、最後まで消えなくてよかったです。

　次回の活動も楽しみです。

カモメ班

[redacted]

　僕は途中から参加しましたが、料理作りを手伝えて良かったです。ですが、分量を間違えていたので、人参が多くなってしまいました。どの料理もとても美味しかったので良かったです。めんつゆは神です。

トナカイ班

[redacted]

　今日の、立ち釜戸作りの活動は、失敗がたくさんありました。

　その中でも、最も大きな失敗は、強度です。

　原因は、自分では固く結んだと思っていても、結構緩くなってたりするからです。

　プラスで、巻き結びの習得が、まだ結構怪しいです。

　次回の機会までに、スカウトハンドブックを、よく復習しておきたいです。

トナカイ班
[redacted]

今回の活動は、多摩川堤防第三京浜下で立ちかまどを作るということでした。
村山太河班長がいない中での二度目の立ちかまどを製作しました。
結果は班長がいた時よりも酷かったです。
何もせず見ているだけの人がいたり、今林班長代理と次長代理だった僕も、上手く指示を出せず本来の力を出せていなかったと思います。
次のたちかまどを作るときは、もっと早く、頑丈に作れる様にしたいです。
また、上手く指示を出せる様にもしておきたいです。

2020 年 8 月 30 日（日）

1day キャンプ（3）

オットセイ班
[redacted]

多摩川でかまどを作りました。この日は、すごく暑くて倒れそうでした。
ぼくは、この前、強度と機能性がダメだったので、気をつけながら作りました。
紐を強くしめたつもりでしたが、また強度がダメでした。
紐を 1 回、1 回強く引っ張るのだと教えてもらったので、キャンプの時などに今度は、強度が強いのを作りたいです。

オットセイ班
[redacted]

今回は、オットセイ班は立ちかまどを作りました。立ちかまどは前にも作ったことがありましたが、その時は紐の縛り方や組み立て方を知らない人が多かったので教えながら進めましたが今回はみんながほとんどの工程を理解した状態で始めたので、前回よりかはスムーズに進めることができましたが、まだ結ぶ力が甘く、少し押せばすぐに傾いてしまうものになってしまいました。
キャンプ本番の時は今回のものよりも頑丈なものを作らないといけないので、また次のキャンプまでに何回かみんなで練習したいと思いました。

カモメ班
[redacted]

暑かったけど、色々なロープの結び方を覚えられてよかったです。

カモメ班
[redacted]

今日は青木君と石井君が休みでした。僕は、立ちかまどの結び目がしっかり出来るのは僕しかいないので、不安でした。ですが、大野君や佐藤君がリーダーに教わって出来るようになっていたので、びっくりしました。僕も筋交い縛りが出来る様になったので、嬉しかったです。

トナカイ班
[redacted]

今回のボーイスカウト活動では初めての炊事訓練をしました。炊事訓練の感想は、カレーの具の大きさがちょうどよくてジャガイモや人参もやわらかくておいしかったことです。2 つ目は、火の管理をするのがとても難しいということです。とても火が熱くて薪を入れるのも大変で、煙が目や口に入って大変でした。いち早く慣れてたくさん料理を作れるように頑張りたいし、はんごうでご飯もうまくできるようしたいです。

トナカイ班
[redacted]

今回、僕たちは楽しい思い出を得たと思います。たとえば、カレーをみんなで作ったことです。みんなと一緒に作ったことで、団結力が上がったと思います。あと、一緒にカレーを食べたことも、団結力が上がったと思います。だけれど、今回はかなりカレーや火番などを、リーダーに手伝ってもらったので、次からは、全部できることは自分でやり、他の班員を手伝って行きたいと思います。

6年間さくらを編集して

前さくら編集 畑崎祐子

6年ほど「さくら」のお手伝いをさせていただき、このたびみなさまのご好意で神田くんを中心にローバー・ベンチャー隊に引き継がせていただくこととなりました。
山田さんの的確なコントロールあっての「さくら」でしたので、わたしのやったことはほんのお手伝い程度でした。
いろいろつたなくて、かえってもうしわけなかったです。毎回原稿を集めてくださった各隊の広報ご担当者のみなさまにも、大変おせわになりました。
webサイトのリニューアルも力作でしたので、きっとかっこいい「さくら」になることと思います。

コロナ禍での活動はいろいろ気を使い、ご苦労が多いことと思います。
地元中学校でPTA役員をやりながら、こういうときこそ日頃の地域での活動がものをいうなあとしみじみ感じています。日頃から地域のいろいろな方の力をお借りして風通しの良いコミュニティーがつくれているところほど、学校のICT化もすばやく保護者の協力もスムーズなようです。
5団もかかわるひとの多様性があってこそ、進化してひとがさらに集まったり巣立ったりできるんだなあと思いました。
内から支えておられる方々の日頃のご貢献にひたすら敬意を表します。

仕事柄、ひとが育つ環境について考えるのですが、今後野外活動はもっと必要とされることと思います。
これからの5団の益々のご発展と、スタッフの皆様のご健康をほんとうにこころから祈っております。

息子共々大変お世話になりました。
ありがとうございました。

会議報告

■ 団会議：8 月 15 日（日）20:00 @尾山台地区会館第 1 会議室

- **各隊報告（簡単に）**
  - ✓ カブ隊の夏期舎営：21-23 日（金-日）に関しては、感染に十分注意をして実施する。
  - ✓ 隊集会等の集合・解散について。
    - ➢ 特に解散後の行動に注意すること（BS 隊スカウト）。
    - ➢ ビーバー隊は電車内での行動（大きな声でしゃべらない等）に注意。

- **カントリーデー：9 月 6 日（日）**
  - ✓ 雨天の場合は（密を避けるため）屋内でのプログラムは中止。
  - ✓ ゴミ拾いはしない。多摩川ベースでのゲームを企画（RS 隊担当）。
  - ✓ ゲームの企画を再度練り直し、8/27（木）までに提出。
  - ✓ 8/30（日）に各隊隊長でオンライン会議（係の分担など）。

- **入団説明会：10 月 18 日（日）10:00-12:00 @奥沢地区会館大会議室**
  - ✓ スカウト活動の見学は無し。
  - ✓ 活動の様子は HP の写真を編集したものをプロジェクターで映写。
  - ✓ 参加者名簿の見直し：メールアドレス欄を加える、各家庭一枚ずつ配布など。
  - ✓ 次回（9 月）会議で、説明会の内容を再度確認。

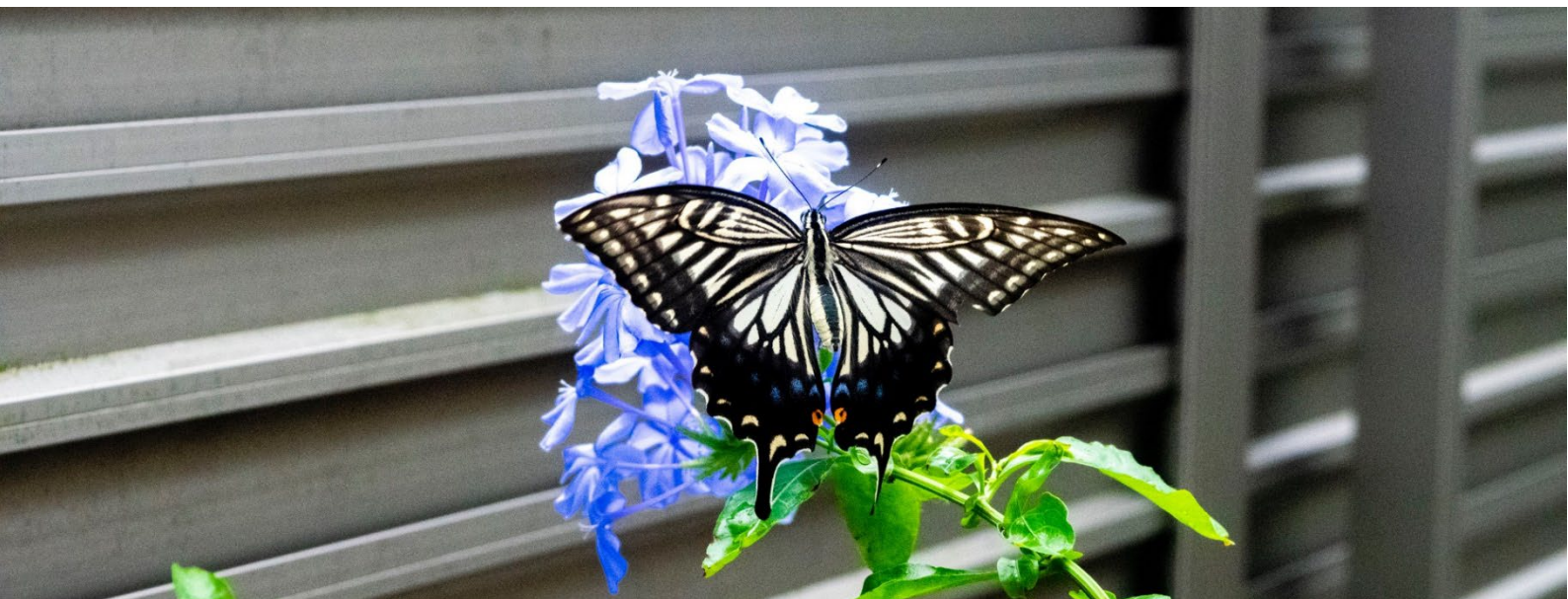
■ 育成会役員会

- **入団必要書類等について団への提案**

- **入団説明会（10/18）チラシの準備、配布枚数、配布対象の検討**
  - ✓ 9/11 に印刷。
  - ✓ 9 月中に近隣小学校、児童館、スーパー等店舗への配布予定。

会議予定

■ 団会議：9 月 26 日（土）20:00- @奥沢地区会館大会議室



編集担当より

編集後記

ローバー隊

神田貴史

団会議報告等でご存知の方もいらっしゃると思いますが、今月より畑崎さんから代わりローバー隊とベンチャー隊がさくらの編集をさせて頂く運びとなりました。リニューアルに伴い各素材やレイアウト等を作成し、、、

と、書きたい事がたくさんあるのですが、今このさくらを編集しているのがカントリーデーの前日で、その準備もしなければならないので、私の寄稿は次回号に載せることにさせてください。

取り急ぎで恐縮ですが、団関係者の皆様、前担当者の畑崎さん、渡口隊長に感謝申し上げます。また、みなさまには学生たちが作る「これからの新しいさくら」を温かい目で見守って頂けると幸いです。

ローバー隊隊長

渡口要

２人目の息子が生まれました。

さくらのリニューアルとカントリーデーの計画でローバー隊は８月後半から大変でしたが，私は子供の名前をどうするかで頭がいっぱいでした。出生届を出した翌日にこれを書いています。

ところで，花のさくらのイントネーションは「さ→く→ら→」で私の名前の「か→な→め→」と同じですが（森山直太朗が歌うときは「さ↓く↑ら↑」ですが），この広報誌「さくら」は「さ↑く↑ら↓」と発音します。偶然にも，私の２人の息子の名前と同じです。

…と思ったけど，３ 文字の名前は大体↑↑↓ですね（た↑か↑し↓とか，げ↑ん↑き↓とか）。

編集・校正・校閲方針について

ローバー隊隊長

渡口要

リニューアルした「さくら」の編集・校正・校閲方針は，各隊の意向に従って以下のようにしました。

1. 紙面デザインについては，しばらくはローバー隊神田スカウトを中心にしながら，毎月ベンチャー隊・ローバー隊でローテーションする担当スカウトが決める。
2. ビーバー隊・カブ隊のスカウトの文章には，一切手を加えない。
3. ボーイ隊のスカウトの文章は，明らかな誤字脱字だけ修正する。
4. ベンチャー隊のスカウトの文章は，誤字脱字や文法，語彙，論理，修辞について修正する。
5. ローバー隊のスカウトの文章は，ベンチャー隊に加えて内容にまで踏み込んだ全面的な修正・改変を行う。
6. スカウト以外の文章については，ベンチャー隊と同様の方針を基本にして，執筆者の意向を汲んで適宜修正を行う。